

交通バリアフリー推進懇談会 池尻大橋駅周辺 点検まち歩き 記録

日 時 : 平成 17 年 6 月 21 日 (火曜日) 午前 9 時 30 分～午前 11 時 45 分

場 所 : 東京都大橋地区事務所、池尻大橋駅周辺

参加者 : 34 名 (一般参加者 18 名、目黒区職員 11 名、東京都職員 1 名、コンサルタント「生態空間研究所」4 名)

プログラム

1. 開会あいさつ (目黒区都市整備部 網倉街づくり課長)
2. 今日の説明 (コンサルタント 黒井)
3. チームづくり
4. 点検まち歩き
5. 点検マップの作成
6. 作成した点検マップの発表
7. レポート・シートについての説明 (コンサルタント 黒井)
8. 閉会のあいさつ (目黒区都市整備部都市計画課 丸山係長)

点検コース

A コース : 大橋病院、大橋図書館、246 号横断歩道橋方面

B コース : 池尻大橋駅、駅前商店街方面

C コース : 東山地区センター、東山住区センター方面

概 要

- ・池尻大橋駅周辺を 3 コースに分けて、バリアフリーの視点から点検を行った。
- ・視覚障害者、肢体に障害を持った方 (車椅子使用) に参加いただき、また、健常者の方にも車椅子を体験していただいた。
- ・まち歩きを終えた後、会場において各コース毎に点検マップの作成を行った。(良い所=緑シール・青付箋、悪い所=赤シール、ピンク付箋)
- ・最後に、各コースの担当者 (コンサルタント) から、マップの発表を行った。
- ・当日意見を述べられなかった点については、「バリアフリー点検レポート・シート」に記入していただき、後日回収することとした。

当日の様子

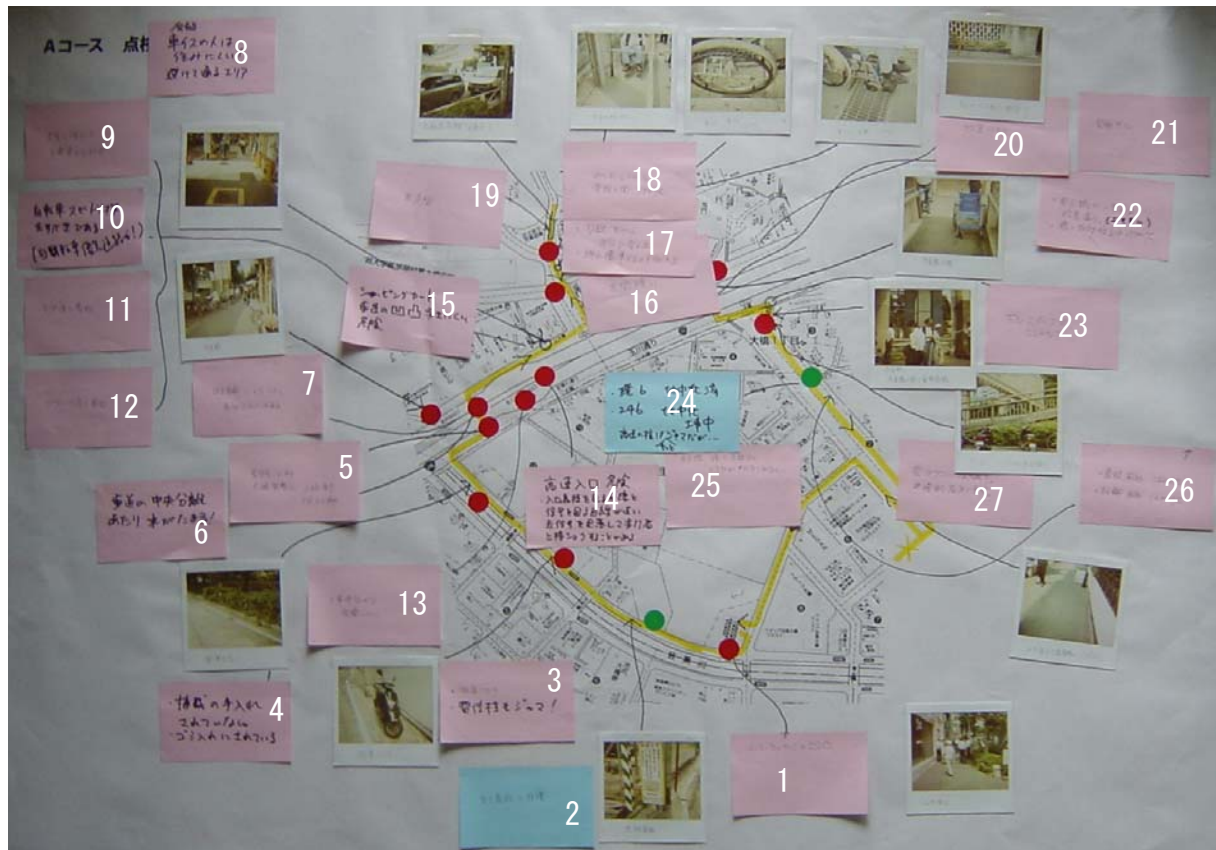


<バリアフリーまち歩きまとめ Aコース>

参加者：12名（一般参加者7名、目黒区職員4名、コンサルタント1名）

■ Aコースの特徴

- 246号線により地域が分断されているが、横断歩道橋はバリアフリー化されていない。
- 246号線北側には、大橋病院、大橋図書館等の主要施設がある。
- 246号線南側では、大橋一丁目地区市街地再開発事業が進められている。



■バリアフリー点検ポイント

- 1：インターロッキングが凹凸になっており、歩きにくい。
- 2：電柱の下には鉄板やプラスチックの板が巻かれており、突起がついている。視覚障害者は、これにぶつかって手を傷つけることがある。ここでは、看板が防護になっていた。
- 3：放置バイクだけでなく、電柱も歩く際の邪魔となっている。
- 4：植栽の手入れがされておらず、ゴミ入れにされている。
- 5：青信号 35 秒。効果音が短く、点滅時の前に音がなくなる。246号で車が走るの、1分30秒間。
- 6：歩道の中央分離のあたりに水がたまる。
- 7：駐輪バイク多く、有効 2700 mmとなっている。
- 8：全般的に、車椅子の人は住みにくく、避けて通るエリアかもしれない。

- 9：夕方（特に）自転車のスピードが速い。
- 10：自転車スピード対策をすべきである。（まるで自転車優先道路のようだ）
- 11：そば屋の看板が歩道上に出ている。
- 12：パチンコ屋の看板が歩道上に出ている。
- 13：工事中なので夜間暗い。
- 14：高速の入口が危険である。入口看板を見る目線と信号を見る目線が近く、車が赤信号を見落として歩行者と接触することがある。
- 15：歩道に凹凸があり、歩きにくく危険。
- 16：夜間暗い。
- 17：大橋は勾配がきつい。車椅子は、自分で登れない。また、排水溝に車イスのタイヤが入る。
- 18：ガードレールと電柱の間 750 mmのところもある。
- 19：車が危険。
- 20：放置バイク。
- 21：勾配がきつい。
- 22：歩道橋の一番下は段差が違う。橋の有効幅員は 1500 mm。
- 23：EVスペースはここかな？
- 24：環 6 地中化済。246 地中化工事中。高速の柱は電柱よりももっと邪魔だが・・・。
- 25：歩道橋、環 6 支線側、上り口が片方しかない。
- 26：看板有効 1400 mm、駐輪有効 1600 mm
- 27：（環 6）昔はココに信号あり。今でも横断者あり、危険。

■提案・検討事項

- 環 6 支線の横断歩道は中目黒寄りにあり、きちんと横断歩道を渡る人が少なく、横断歩道の無い所を横断している人が多い。

<バリアフリーまち歩きまとめ Bコース>

参加者：12名（一般参加者7名、目黒区職員4名、コンサルタント1名）

■Bコースの特徴

○池尻大橋駅、駅前商店街、目黒川などが位置している。



■バリアフリー点検ポイント

- 1：目黒川沿いの緑道で、インターロッキングがはがれて段差がある。
 - ・地盤沈下による影響なのではないか。
- 2：目黒川北側緑道の郵便局の辺りは、雨の日に水たまりになる。
 - ・排水溝の位置が、横断勾配の高い方にある。
- 3：敷地と車道の段差解消スロープは、車道に飛び出して設置されており、視覚障害者にとって危険である。
- 4：246号線と目黒川沿い緑道の交差部分の歩道の切り下げは、勾配がきつく、切り下げ幅も狭いので、車椅子では恐怖感を覚える。
- 5：246号線や高速道路の騒音で、脇から出てくる車の音が聞き取れない。視覚障害者にとっては危険である。
- 6：放置自転車や、店の品物が歩道上にあり、歩きにくい。

- 7：歩道の切下げ幅が短い。
- 8：駅にエレベーターが設置されてよかった。
- ・高齢者やベビーカーを押した女性など、当日も利用者が多かった。
- 9：(駅構内) 路線図が天井近くに設置されており、見えにくい。
- ・肢体不自由、視覚障害があると、高い位置への設置はバリアとなる。
- 10：(駅構内) 車椅子では、券売機の画面の位置が高く、手が届きにくい。
- 11：(駅構内) トイレが下り方面ホームにしかない。
- 12：青信号の時間が短い。
- ・エレベーターが 246 号線北側に設置されたが、南側には設置されていないので、この横断歩道を渡ることになるが、車椅子では渡りきれない。
- 13：駅入口の階段の角がとがっていて、危険。
- 14：南側には、駅へのエレベーターが設置されていない。
- 15：違法駐輪が多い。
- 16：駅構内や商店街では、視覚障害者にとって判断の妨げとなる程の騒音がなく、歩きやすい。
- 17：荷捌きの車が停まっている。
- 18：電気表示看板が出て、危険である。
- ・視覚障害者は白杖で路上の危険物を判断するが、上のほうにモノがあると危険。
- 19：路上に常駐的にバイクが停められている。
- 20：緑道の植物が茂って、路上に出てきており、杖がからまると危険である。

■提案・検討事項

○はみ出し看板、はみ出し商品については、こうした場で意見が出たことを、商店会の会合で報告し、改善していきたい。

<バリアフリーまち歩きまとめ Cコース>

参加者：9名（一般参加者4名、目黒区職員3名、東京都職員1名、コンサルタント1名）

■Cコースの特徴

○坂の上の緑豊かな住宅地と、坂の下の商店街に分かれている

○坂の勾配がきつく、手押しの車いす単独では上るのは無理

→どうやったら雰囲気の良い坂の上に上がりやすくなるか

○商店街があり、また中目黒などへの抜け道となっているため、車の交通量が多い



■バリアフリー点検ポイント

1：橋の上に駐車されると橋の真ん中を歩くしかなく危険

- ・考えられる理由…誰かの家の前ではないから、道路が意外と広いから

2：コンビニの前の道路の駐車がひどい

- ・片方がガードレールのため、もう片方の白線の方に駐車する
- ・そちら側に駐車されると道路の中央部を歩くしかなくなるので危険

3：車の通行量が多く危険

- ・商店街のせいかな？

4：歩道に点字ブロックが少ない

- ・あってもとぎれとぎれ

- 5：歩道が斜めになっていて、車いすだと傾いてしまう
- ・ガードレールがあるので歩道の幅に余裕がない
- 6：車の通行量が多く危険
- ・商店街を通る車だけでなく、坂を上る車もあってさらに危険
- 7：車の通行量が多く危険
- ・ガードレールにより歩道の幅が狭くなっている
 - ・電柱がガードレールの内側に配置されているため歩行の妨げになっている
- 8：自動販売機の前に意味不明なガードレールがある
- ・電柱に挟まれているので入りにくい（特に車いすは）
 - ・結果、ガードレールの外を歩くことになるので余計に危険
- 9：坂が中目黒などへ行く車の抜け道になっている
- ・一部道路が狭い部分があるが、大型車なども通るため危険
- 10：道路から歩道へ上がる勾配がきつい
- ・車いすではうまく操作しないと傾いてしまう
- 11：工事のせいか、歩道の幅が狭くなっている
- ・反対からベビーカーや車いすが来るとすれ違うことができない
- 12：歩道上の放置バイクがひどい
- ・反対からベビーカーや車いすが来るとすれ違うことができない
- 13：道路と歩道との段差が5センチあり、車いすにはつらい
- ・しかもこの道路はコミュニティ道路で車が通らない…この段差は不要ではないか
- 14：道路や歩道がゆったりしていて車いすでも通りやすい
- ・車いすがどうやったら坂に上がりやすくなるかが課題
- 15：このあたり一帯は緑が豊かで散歩にはもってこい
- ・車いすがどうやったら坂に上がりやすくなるかが課題
- 16：目黒川沿いの歩道は放置バイクがひどく歩きにくい
- 17：目黒川沿いは意外に車の通行量が多く危険

■提案・検討事項

- 道路を地域の住民がどう考えるかが重要
- 計画はあっても、最後に決めるのは住民自身
 - 車の交通を優先するか、歩行者を優先するか、道路ごとに決める必要がある
- 道路の水はけと勾配の関係
- 場所によっては平らでもいいのでは…勾配がつくと車いすが傾いてしまう
 - 水を流すのは道路の端でなくてもかまわないはず（真ん中にするとか）
- ガードレールか白線か
- 遮るものがないため、白線の方が歩行者にとって融通が利く
 - ただし、ガードレールがないと車が駐車しやすくなってしまう

- 歩道にポケット（一部広いスペース）を設けたい
 - 歩道が狭くても、反対から来る車いすやベビーカーとスムーズにすれ違うことができる
- 点字ブロックに無線（ICチップ）を埋め込みたい
 - 車いすに受信機をつけることで、スムーズな誘導・案内に役立つ
- バイク置き場を考えたい
 - 駐車場や駐輪場が整備されても、バイクが駐車できる場所は意外に少ない
 - 結果として歩道に止められてしまうので、通行の妨げになってしまう
- 歩道を片方に寄せて広くしてはどうか
 - 狭い歩道でも、両側にあるのを片方に寄せればその分広く取ることができる
 - ガードレールの設置や警察との協議が必要
- ガードレールと電柱の関係
 - ガードレールの内側に電柱があることで歩行の妨げになっている
 - ガードレールの位置に、電柱も収めるようにできないだろう

<バリアフリー点検レポート・シート>

「池尻大橋駅周辺点検まち歩き（6月21日開催）」で「バリアフリー点検レポート・シート」を配布し、当日意見を述べられなかった点等を記入していただいて後日回収した。

1. 「池尻大橋駅周辺 バリアフリー点検まち歩き（6月21日）」で点検した以外に、バリアフリーの点から気になっている場所、改善した方がいいと思う場所を記入して下さい。（裏面の地図に、その場所も記入して下さい。）

・全般に関して

- （1）バリアフリーの対象を「足の不自由な人」に限定することなく、「目の不自由な人」「耳の不自由な人」も加えてほしい。
- （2）「通行に支障なし」の機能的側面だけでなく、「美しい街」に一步進めることにより、人の心をゆったりさせて、自然に障害者を手助けするようにはどうか。

- ・6月21日の点検で指摘された中には、都市計画という大きな事業に組み入れるのではなく、すぐにでも手がつけられ、改善できると考えられる点がいくつかあります。早急な対応を望みます。

- ・幹線出口付近のバリアフリー化（山手通りに出る所）。小学校、中学校付近の2tトラックの通行を止めた調査。東山2丁目付近はバリアフリー化が皆無である。

2. 次回の交通バリアフリー推進懇談会（秋頃開催予定）では、池尻大橋駅周辺地区の具体的な「福祉のまちづくり推進計画」の素案づくりを行います。本日お配りした、池尻大橋駅地区の構想に、加えたいと思う項目等がありましたらご記入下さい。

- ・（1）車と人が混在する区道の場合に、歩道を安全な、快適な道にするにはどうしたらよいか。歩道を片方によせる方がよいか、両方にあった方がよいか。単に感覚的なボンヤリした視点ではなく、きちんと測定して、人の動きを良く観察してほしい。

- （2）美的要素（景観も重視）を忘れないように。

- ・「災害時の活動の為の防災備品倉庫を確保」消防団、地域防災組織の為の倉庫が手狭で使い勝手や立地条件も悪いので、是非、重要検討事項に加えていただきたい。

- ・円内より更に拡大したバリアフリー化の検討をお願いしたい。東山二丁目全域を含めた検討を一緒に考える。目黒橋付近の改善から始まり、目黒一郵便局付近までのバリアフリー化を考える。交通量が多く、危険区域が随所にあり、今一度見てほしい。

<その他意見>

「池尻大橋駅周辺点検まち歩き（6月21日開催）」に参加できなかった方（氷川台在住）から、後日電話で意見をいただいた。

バリアフリーに関して

- ①歩道橋へのエレベーター設置、スロープの設置を検討してほしい。
- ②個人的な要望だが、目黒川側道の白線歩道部が狭い。歩いていて水面が見えるような工夫を。
- ③通過交通を抑制してほしい（車の通行の制限、又は、スピードの抑制）。区立1中南側の道路を抜け道としてタクシーが利用している。現在午後11時以降は、通行禁止となっている。

（参考）再開発に伴う要望

- ①保育園（双葉の園）のグラウンドは、午前11時まで日影となる。そのため、日なたとなる園庭を拡張してほしい。（西側の図書館の建替えて、屋上の利用をお願いしている。）
- ②住民の集会場がほしい（都営アパートにあった）。
- ③図書館の裏の階段の蹴上の高さが不揃いであり、改善してほしい。（関東財務局所有地で、払下げられれば、整備可能と聞いている。）